

議会だより

行政報告・補正予算

意見書…………… 2～4

町政のそこが聞きたい…………… 5

一般質問…………… 6～8

決算審査特別委員会…………… 9～10

委員会などの動き…………… 11～15



昨年、山谷北海道副知事が参加され、「ボー川史跡自然公園」を絶賛！
今日の、『日本遺産』への申請手続きの件へと発展

・中司道議・中田根室振興局長・湊屋羅臼町長
・西村中標津町長・金澤標津町長を囲んで…

21世紀に翔く『まち惚(ぼ)れ』の会in川北
平成29年11月11日(土) 【於】川北ふれあいセンター

21世紀に翔く『まち惚(ぼ)れ』の会

第2代目会長 下茂 信和(しも のぶかず)【住居：厚床 職業：削蹄師】

1980年代後半より紡いで来た「まちづくり」の熱き想い・壮大なる志。
創設会員は齢(よわい)を重ね、50～60歳代と為りしも、その気概は衰える事なく永久(とわ)なり。

今後共、今昔の青年達が「まちの未来」を語り合える飲(の)コミュニケーションの集いであり続けたい。

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

秋サケ漁 昭和45年以降で 最も少ない水揚量に留まる!

金澤瑛町長の行政報告



基幹産業の状況は

酪農業

今年の一番牧草は、4月から5月に入り気温が高かったことに加えて、日照時間も比較的多かったことから順調な生育となり、収穫についても、6月下旬から7月上旬の好天に恵まれ、品質の高い自給粗飼料が確保された。

また、二番牧草は、7月下旬から天候不順により生育が若干遅れたが、その後の天候回復により収穫量・栄養価とも平年並みとなり、全体として良好となった。今年4月から11月末までの8ヶ月間における生乳生産量は、対前年比6・1%増の6万9,245トンとなり、本年度末では、昨



搾乳の様子

年に引き続き10万トン台に達する見込みとなった。農業生産額については、乳用牛・肉用牛の市場価格が若干下降したものの、乳価が上昇したことから、11月末現在では、前年とほぼ同額の75億3,800万円となっており、順調に推移している。しかしながら、農業

生産資材価格は円安の流れや受給バランスの影響から生産資材・輸入家畜飼料が高止まりとなっており、相変わらず厳しい経営環境となっている。今後日欧EPA交渉妥結やTPP大筋合意への不安、乳価・牛肉価格の下落の懸念などが投資意欲の後退や農業経営の継続断念など、悪影響を与えることを大変憂慮している。今後我が国は、人口減少と少子・高齢化の急速な進向から生じる深刻な農業労働力不足が考えられる中で、新たな本町農業の成長に向け新規就農者に対する支援、農業コントラクター整備による農作業の外部委託化、酪農ヘルパーの整備による労働負担の軽減など、その対策が不可欠となる。

水産業

今年の秋サケ漁については、北海道さけ・ます内水面水産試験場が発表した来遊予想を大きく下廻り、本町では対前年比32%減の2,017トンの水揚げに留まり、統計が残っている昭和45年以降で最も少ない水揚げ量となり、極めて深刻な結果となった。一方本町の秋サケ水揚げ額は、魚価の高騰により、対前年度比12%増の20億4,500万円と、なんとか前年を上廻ったが、依然として厳しい状況が続いている。本町の秋サケ漁業は、町の経済を潤す最も大切な資源である。不漁の原因が特定されない中で、確実・有効な対策が見いだせない状況であるが、漁獲量の維持・安

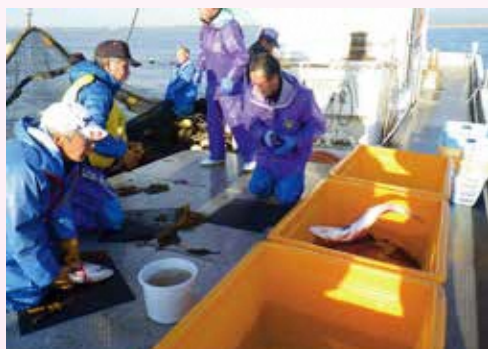
定のためには、何とい
っても資源造成のため
の親魚の確保、健康で
元気な稚魚づくりが重
要である。定置漁業者
は親魚の確保対策とし
て、網入れ開始を9月
1日からを9月4日に
変更するとともに、漁
獲の開始時期を9月7
日からとし、10月21
日から定置網の一部網
上げ実施するとともに、
11月21日をもって全
部の網上げを行うなど
の自主規制を実施した
が11月30日現在の根
室管内さけ・ます増殖
事業協会における根室
北部地区における採卵
計画の達成率は前期で
107%、中期は71%、
後期は79%全期間で84%
と厳しい状況となった。
町としても今後に於い
ても漁業関係者にと
もに、資源造成に必要
な施設整備、自然産卵



付加価値向上に向け船上一本メ

査、サケ稚魚の餌料調
査、河川環境を守る取
り組みなどを地域が一
丸となって取り組んで
いく必要がある。

ホタテ漁については、
3,520トンの年間
計画に対して夏操業を
終えた段階で、水揚げ
量が2,389トンと
対前年比33%減と年間
計画の68%にとどまり
計画の達成が厳しい状
況にあるため、11月20
日からの秋操業では、
当初計画の1,128
トンが500トンに下



方修正された。ホタテ
の年間水揚げ8,00
0トン体制の確立に向
けて、引き続きその資
源づくりに取り組んで
いく。

水産加工業

平成20年からの秋サ
ケ不漁に加え、ロシア
トロール船による乱獲、
サンマやイカの不漁に
より、加工原料の不足
が深刻な状況。

魚価の高騰や加工従
業員の確保も難しいな

ど、水産加工業を取り
巻く環境は依然として
厳しい。

町としても「標準水
産物ブランドづくり事
業」により、活メ普及
対策、付加価値向上対
策、魚食普及対策など、
水産物・水産加工品の

ブランド力のアップに
努めており、水産加工
業者を対象として、地
場産品の販路拡大を目
的とした商談会や水産
加工機器の展示会への
参加経費の助成など、
水産加工業者の支援を
継続していく。

本町の人口の推移

本町の人口は11月末
現在で5302人、12
月以降の数値を推測す
ると今年度末の人口は
5,267人と前年度
比30人減となる見込み。
30人減の内訳は、自然
減22名、社会減は8名
である。出生数は前年
度39人だが今年度は40
人を上回ると推測さ
れ、平成26年の過去最
低の31人から回復傾向
にある。

転入・転出の差「社
会増減」は昨年度は18

人の増となり住民基本
台帳法が公布されてか
ら50年の統計の中で初
めて社会増となった。
政策パッケージ実施前
の過去10年の平均（H
16～H25）で年間約50
人が減少していたの
で、昨年度以来、人口
減に一定の歯止めがか
かってきているとの推
察ができる。政策パッ
ケージについては、健
全な財政状況を維持し
つつ、今後も継続的に
取り組む。

一般会計の補正予算

主なもの

(単位:千円)

項 目	金 額	内 容
社会保障・税番号制度システム整備事業	1,631	税システムの内部レイアウトの修正、マイナンバーカード記載事項の変更
ふるさと応援基金積立金	58,662	平成29年度納税額を1億円としていたが1億4千万円に上方修正
ふるさと新生プランステップⅡ推進基金積立金	2,000	指定寄附
冬の生活支援特別対策事業(福祉灯油)	1,848	対象世帯360世帯1世帯あたり5,000円
乳幼児紙おむつ購入費助成事業	1,097	当初見込43人に対し46人が見込まれる
子ども・子育て基金積立金	1,000	指定寄附
乳幼児等医療費助成事業	1,561	決算見込みによる追加
畜産・酪農収益力強化整備等特別事業補助金	17,000	3戸複数戸協業法人 古多糠(株)ライズフェルムへ補助 全額北海道費
凍結施設整備事業 (漁協産地加工センター凍結施設)	3,300	防熱扉改修交換整備へ補助 全額北海道費
海岸漂着物等地域対策推進事業	3,154	標津海岸の集積流木の処理経費 (うち2,500北海道経費)
標津町流木対策事業	1,375	台風18号により発生した流木処理
住宅取得支援事業	9,470	当初の新築予定10戸に対し年度末まで16戸が見込まれる

同意案件

固定資産評価審査 委員会委員

標津町字川北本通6番地

山本 祐一氏

〈任期〉

平成29年12月20日～

平成32年12月19日

意見書

○北海道の酪農・畜産の安定経営に関する意見書

提 出 者

大垣

勇 議員

① 町長は就任当初、「当分の間減額する」との事であったが、その期間は、既に経過している。

給与 役職	条例の金額	当面の金額
町 長	846,800	745,000
副町長	677,700	644,000
教育長	610,000	592,000

町 長は12%減→据え置き
副町長は10%減→5%減に改訂
教育長は8%減→3%減に改訂

● 特別職の給与

条例の改訂

- ② 標津町の経営状況は、財政指標から管内他町よりはるかに良い。
 - ③ 管内他町では、すでに減額措置を廃止している。
 - ④ 報酬審議会で審議されたとしても、大局的見地からの公平感・妥当性に疑問が生じる。
- 以上などのことから、早急に本則に戻すべきとの発言があったが、原案どおり可決された。
- ・ 標津町中小企業融資条例
 - ・ 職員の給与に関する条例の一部改正もそれぞれ可決された。

一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたる町執行機関の政策・方針を質す事です。
単に疑問を晴らし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を、見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

町政のそこが聞きたい

平成29年第4回定例会(12月13日)で3議員が一般質問をしました。
質問項目とその内容を要約して掲載します。

小川 悠治 議員

6ページ

- 職員採用＝経営上の最重要投資案件
近年の採用状況は？
- 求める職員像は？
- 4町で最も低いラスパイレース指数
職員採用に影響は？



『標津町役場』の銘板



役場庁舎と勤務中の職員の様子

木下 孝 議員

7ページ

- 深刻な秋サケ漁
～沿岸自治体と共に
道・国に強い要望を！～
- 町内各所の看板・表示板・標識の
現場検証・改修を！



【秋サケ漁の様子】



出典
「サライ」2018年1月号

夏場は樹木の枝葉に隠れ
殆ど看板の体を成さない
『スポーツの町 標津町』の看板



【川北生涯学習センター前】

●日本の河川で孵化したサケの回遊ルート
↑日本のサケは春に降海し、夏から秋までオホーツク海で過ごす。その後、北太平洋西部で最初の冬を越す。2年目以降は季節ごとにベーリング海とアラスカ湾を回遊しながら成長していく。

吉田 智 議員

8ページ

- ～佳節を迎えるに当たり～
①記念事業・施策は？
②『標津町史(第3巻)』の編纂は？



標津より眺める国後島



標津より望む知床の山々



標津町開基90年記念式典
(昭和43年11月3日挙行政)



『標津町史(第1巻)』の
編集会議の様相
～発刊までに4年の歳月
を要した～

標津町史(第1巻)より
昭和43年頃の標津からの眺望

- 『報・連・相』の励行と『飲(の)コミュニケーション』の遂行を！

報・連・相(報告・連絡・相談)

組織の上下を繋ぐ重要な意味がある

一般に、1982年に山種証券(現・SMBCフレンド証券)社長の山崎富治氏が社内キャンペーンで始めたことが広く知られている。(氏の著書『ほうれんそうが会社を強くする』がベストセラーとなり広まった)

飲(の)コミュニケーション

人間は共食をする動物である

酒を飲むとコミュニケーションの合成語。飲みニケーションとも表記。社会で行われている人間同士でのコミュニケーションの形式の一つ。酒を飲む事により、互いが馴れ合ったり、親密な話ができるようになる事が目的。

職員採用Ⅱ経営上の最重要投資案件 近年の採用状況は？



小川 悠治 議員

問 正職員5人採用で10億円を越す投資となり、町経営上の最重要投資案件となる。

将来、町を経営する有能職員確保の重要性からその工夫と、近年の採用状況を伺いたい。

答 職員採用状況

教養試験、適性試験、試験専門機関による分析を基に採用している。採用の基本として、試験点数を上げてまでの採用はしない。縁故採用はしない。採用に男女の区別は無く、男性が少ないのが気になる。

採用年度	募集人数	応募者数							採用者数						
		大卒			高卒			合計	大卒			高卒			合計
		男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
平成25年度	6	4	5	9	14	4	18	27	1		1	4		4	5
平成26年度	5	11	3	14	5	5	10	24	1		1	1	2	3	4
平成27年度	5	4	1	5	8		8	13	2		2	3		3	5
平成28年度	2	1	3	4	2	1	3	7	1	1	2				2
平成29年度	6	5		5	3	3	6	11	1		1		2	2	3
平成30年度	5	1	2	3	2	3	5	8		1	1		2	2	3

根室管内町職員採用資格試験の応募・採用状況（標準町分）

公募外で大学関係者等にアンテナも張っているが、有能職員確保に苦慮している。

求める職員像は？

問 町職員の能力が、町経営を左右する事になるが、求める職員像は？

答 職員に対し、若いうちに、基本知識、広い情報を習得し、それを基に、住民に寄り添う姿勢の確立を求める。

① 地方自治法、公務員法は当然の習得知識
② 標準町史は自ら通読
③ 新聞を隅々まで精読
この姿勢がなければ、人との交わりの楽しさも切磋琢磨も無く、地域にも話題にも付いていけない。現場主義と経験から、自ずから何をすべきかの将来像が生まれてくる。



『現代用語の基礎知識』と『現代自治六法』

4町で最も低いラスパイレス指数

職員採用に影響は？

影響していないと判断
行財政改革で質的向上に着手

問 職員採用で、ラスパイレス指数が低いことの影響は無いのか？

答 聞き取りから、ラスパイレス指数が職員募集に影響していないと判断している。

平成13年小泉内閣の構造改革、その後の市町村合併で、地方交付税が40億円から30億円に減額された。前町長時に、3人退職で1人採用を公約し、尾を引いていた。3年前の執行方針で、今後の行財政改革は総量減額から質的向上とした。待遇も含めて厚みを増す時期になった、早期に着手する。

根室管内4町のラスパイレス指数※

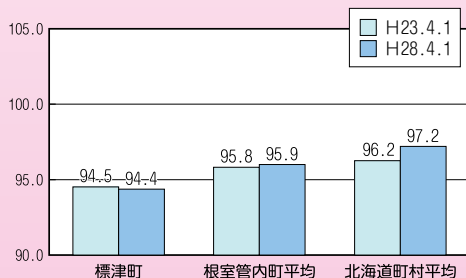
別海町	97.7%	中標津町	96.2%
羅臼町	95.4%	標津町	94.4%

ラスパイレス指数、管内最低

※ ラスパイレス [E.Laspeyres] (1834年～1913年) ドイツの統計学者

- 地方自治体間で、給与水準を比較するときに用いる指数。
- 国家公務員を100とした比較で数値化するため、その地方自治体の「ラスパイレス指数」が100より小さければ、同一学歴、同一勤務年数の職員で比べても、基本的に国家公務員より給与水準が低いと考えられる。

ラスパイレス指数の状況





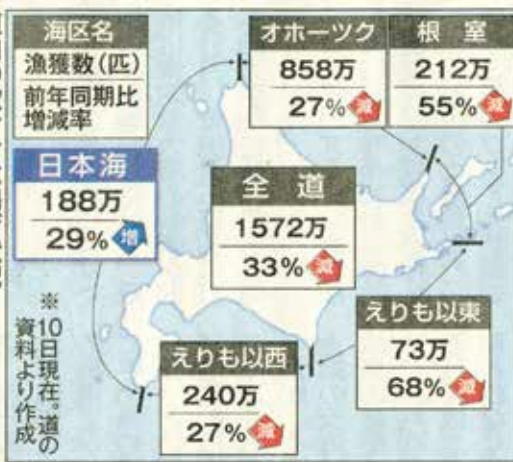
木下 孝 議員

抜粋・一部加筆

1面

平成29年12月15日(金)付

道内の秋サケ水揚げ状況



深刻な秋サケ漁
沿岸自治体と共に
道・国に強い要望を！

リーダーシップの中で
取り組んで行く

秋サケ3割減 記録的不漁！

問 秋サケ漁が2年連続の大不漁となった。

沿岸市町村に呼びかけ、不漁要因の特定及び対策に関して、道・国に

答 大変厳しい結果である。私のリーダーシップの中で取り組む沿岸50市町村に働きかけ、率先して道や国へ対策を要望して行く。

道東の漁業者悲鳴
釧路さけ定置漁業協会の新保太平会長(釧路管内白糠町)は「網を確認しても10匹も入っていない日もあった。こんな年が続いたらもう漁を続けられない」。親魚確保のため、漁期を10日ほど残して11月21日に網を撤去した羅臼漁協(根室管内羅臼町)の萬屋昭洋組合長も「来年以降、どうなっていくのかという不安がある」と漏らした。



道立総合研究機構さけます・内水面水試(恵庭市)の藤原真研究主幹は、不漁の原因について「2013、14年に太平洋沿岸で春の海水温が低く、サケの稚魚が生き残りにくかったことが影響した可能性がある」と指摘する。

標津町における秋サケ定置漁業の漁獲状況【直近5カ年】

区分 年次	漁獲 尾数 (千尾)	漁獲 数量 (トン)	漁獲 金額 (百万円)	単価 (円/kg)	目回り (kg/尾)
H25	2,268	6,934	2,852	411	3.06
H26	1,215	4,000	1,916	479	3.29
H27	1,418	4,416	2,171	492	3.11
H28	900	2,861	1,733	606	3.18
H29	654	1,942	1,970	1,014	2.97
(%)	73	68	114	167	93

対前年比【H29/H28】

秋サケ1尾当たりの
平均単価(目回り)

H28	1,927円 (3.18kg/尾)
H29	3,012円 (2.97kg/尾)
	1.56倍

出典

標津町役場水産課

一部加筆

町内各所の看板・表示板・標識の 現場検証・改修を！

問 町内各所の看板・表示板・標識が樹木の陰になつていたり、破損・傾倒していたりして、所期の目的を果たしていない。

写真 現場を検証し改修を！

答 『日本で最も美しい村』連合に加盟している自治体として恥じめ様、明年度当初より当該現場各所を検証し、順次、改修を進めて行く。

写真

市街です!!

- ・スピードを落として下さい。
- ・路上駐車はご遠慮下さい。
- ・駐車場をご利用下さい。

標津町・川北連合町会

樹木の枝葉に隠れる看板



大きく傾いた道路標識



準用河川
シュラ1号の1 川



既に廃校になっているにも拘わらず「学校あり!」の表示

【古多糠市街交差点手前】

※1【佳節(かせつ)】
よい日柄。祝い日。
目出度い日。吉日

平成30年：明治150年、北海道150年、町制施行60年、水・キラリ20周年
平成31年：開町140年、とどわら太鼓保存会50周年、更に、4月30日天皇退位。
5月1日皇太子即位・新元号となる節目を迎える見込み(12月8日閣議決定)

※1佳節を迎えるに当たり
①記念事業・施策は？②『標津町史(第3巻)』の編纂は？



吉田 智 議員

問1 明年、明後年と佳節を迎えるが、当町の伝統文化である「とどわら太鼓保存会」の50周年記念事業に対し、絶大なる後援を！

又、国は平成31年度より、当町同様、就学前児童の教育費の無償化・負担軽減策を唱えている。道内一の子育て支援を標榜し、「政策パッケージ」を推進している当町が、一歩先を越す為に、学校給食費無料化等の新政策を講じるべきである。計画している記念事業・施策は？



平成31年に50周年を迎える『しべつとどわら太鼓保存会』
於「陸上自衛隊標津分屯地「年忘れ行事」(平成29年12月17日)

答1 当町伝統芸能を未来に継ぐ為に、「とどわら太鼓保存会」の周年事業に対し、積極的に後援する。

子育て支援は「政策パッケージ」の柱である。国の政策により、優位性が損なわれる事になるので、給食無料化策を中心に、一歩先を行く政策を検討する。国、道の150年記念に呼応した記念行事

は、念頭に無い。

華美を省き、質素・簡略を旨として、当町の140年記念式典本部を明年度に組織する。広報誌等で既報の通り、岡千秋先生による「標津応援PRソング」の制作。(現在進行中)更に、シナリオ性、ストーリー性のある「ゆるキャラ(ご当地PRマスコットキャラクター)」の創作も検討していく。

別海町観光協会公式キャラクター
『別海りょうウシくん』



酪農も漁業も両方PRしたい！

問2 昭和54年3月、開町百年を記念して『標津町史(第2巻)』を発刊。爾来40

年来、町史の発刊が無い事は、平成28年3月定例会において質した。

佳節を迎えるに当たり、歴史を紡ぐ町史(第3巻)の編纂は？

標津町史(第2巻)



《昭和54年3月30日発行》

開町100年

答2 編集委員として、
●文章力に長けた方
●行政に精通した方
●史実を忠実に考察できる方

を役場OB職員を中心に選出し、平成30年度当初に、編纂委員会を立ち上げ、140年記念として、発刊を目指す。

※2、※3:5頁参照

※2『報・連・相』の励行と
※3『飲(の)ミニケーション』の遂行を！

事例
後志管内岩内町

担当課長の説明を受け、規格を上回る墓碑を建立した住民男性に対し、町が条例違反として墓地使用許可を取り消した。男性は、不当として行政訴訟を起こした。

問 事例の様な事は、決して対岸の火事ではない。同じ様な火種はどの自治体も抱えている。『報・連・相』が機能していれば、大過なく対応できることである。う。(組織の上下を繋ぐ)

※4 巷間(こうかん)「自治体役場に元気がない。」その要因は、職場内の『飲(の)ミニケーション』不足だと言われている。『報・連・相』の励行と『飲(の)ミニケーション』の遂行で、職場を活性化し、和を持って、円滑なる業務推進が望まれるが、如何か？

答 正に、指摘の通り。再三、課長会議において、述べているが、若い世代との「ミニケーション」に苦慮している様である。

幹部諸氏が指摘を肝に銘じ、各部署において履行される事を望む。

※4【巷間(こうかん)】ちまた(巷)。世間。町中

決算審査特別委員会

平成29年10月23日～27日

決算審査報告

平成28年度の一般会計・8特別会計は10月23日から27日までの5日間、議長と議員選出監査委員を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（南憲治委員長・山崎英司副委員長）で慎重に審議され、理事者及び各課主査以上の職員が出席し、質疑終了後、会計ごとに討論・採決を行った。

決算審査特別委員会では、活発な質疑が行われ、委員会としては各会計とも原案どおり認定すべきものと決定した。

平成29年第4回定例会において、南委員長から委員会審査報告がなされ、各会計とも委員長報告のとおり全会一致で認定された。

議案番号	事 件 名
認定第1号	平成28年度標津町一般会計決算
認定第2号	平成28年度標津町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算
認定第3号	平成28年度標津町国民健康保険特別会計（病院事業）決算
認定第4号	平成28年度標津町介護保険特別会計（事業勘定）決算
認定第5号	平成28年度標津町介護保険特別会計（サービス事業勘定）決算

議案番号	事 件 名
認定第6号	平成28年度標津町後期高齢者医療特別会計決算
認定第7号	平成28年度標津町簡易水道特別会計決算
認定第8号	平成28年度標津町下水道特別会計決算
認定第9号	平成28年度標津町金山地域休養施設等特別会計決算

総括Q&A抜粋

Q 移動販売サービスの車輛が老朽化しているが、今後の助成を含めてどのように考えているのか。

A 町としては、助成の方向で意志決定をし、事務方の執行段階に進んでいる。

商工会は車輛導入後の詳細な詰めをしているところである。

しかるべき段階で予算計上をする。

委員会報告

委員会審査報告書には次の意見を付して、議長宛に提出した。

①重要な財源である各税、保険税、各保険・使用料等の収納業務について一定の評価はできるものの、滞納額の現実を視ると住民の公

平負担の原則に反するもので、健全な財政運営を執行する上で不可欠の条件である。

特に国民健康保険税は、前年度未納額より減少したものの、滞納額は多額であることから、なお一層の努力をすること。

現年度完全収納を基本に、滞納額の解消に一層の努力をされ、滞納者の対応については個々の生活実態に応じた、きめ細やかさが必要であり、粘り強く収納に当たりたい。

②アイヌ住宅改良資金貸付金においては、資金返済に一部滞納者が有るので回収に努めること。悪質な滞納者に対しては、強攻な措置と勇断を持った姿勢で臨むべきである。

平成28年度 まちの決算書

一般会計

歳入 81億1,117万円

歳出 78億7,019万円

差 引

2億4,098万円

歳出

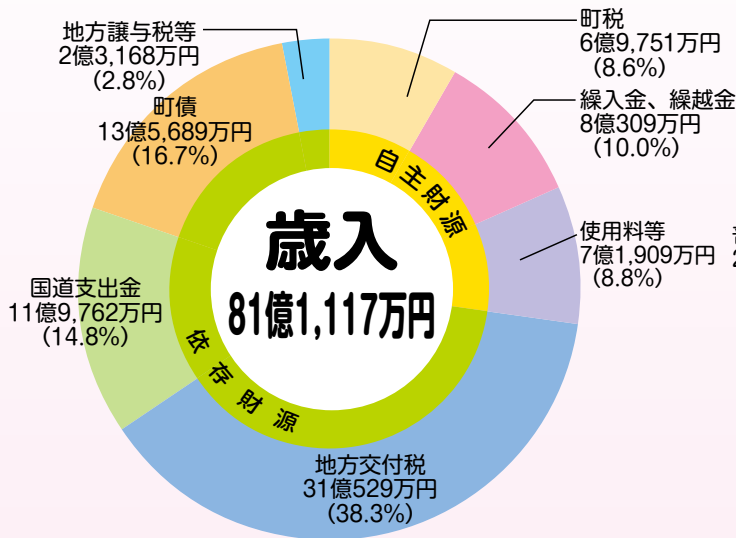
対前年比

※28%増

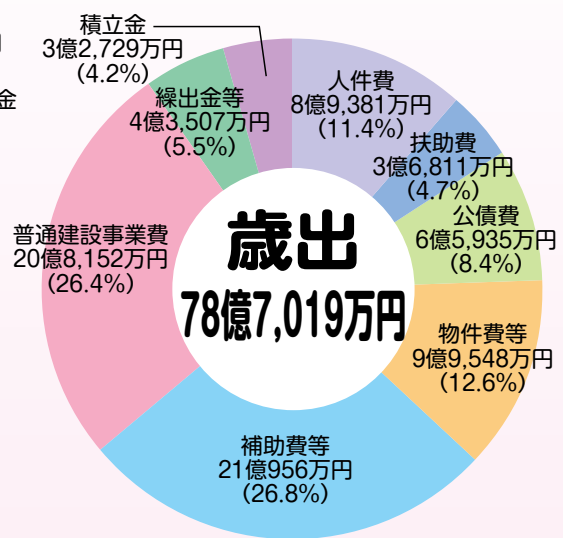
～町民力・地域力・行政力の結集によるまちづくりの推進～

※歳出増の主な要因…農業施設建設支援・こども園建設

「財源別」内訳



「目的別」内訳



※自主財源 22億1,969万円 (27.4%)
 ※依存財源 58億9,148万円 (72.6%)

町債＝借金

公債費＝返済金

積立金＝貯金

町民1人当たりが負担する町税
13万1,680円

【参考：札幌市は14万5,716円】

町民1人当たりが受けるサービス
148万5,782円

【参考：札幌市は47万2,765円】

各会計 歳入・歳出決算総括表

会計区分		歳入	歳出	差引
一般会計		81億1,117万円	78億7,019万円	2億4,098万円
特別会計	国民健康保険特別会計（事業勘定）	8億1,276万円	8億1,243万円	33万円
	介護保険特別会計（事業勘定）	4億853万円	3億8,299万円	2,554万円
	介護保険特別会計（サービス事業勘定）	2,684万円	2,684万円	0
	後期高齢者医療特別会計	1億1,818万円	1億1,802万円	16万円
	簡易水道特別会計	1億8,509万円	1億7,660万円	849万円
	下水道特別会計	2億9,370万円	2億9,370万円	0
	金山地域休養施設等特別会計	3,009万円	3,009万円	0
	特別会計合計	18億7,519万円	18億4,067万円	3,452万円
企業会計	国民健康保険特別会計（病院事業）	8億4,132万円	8億2,876万円	1,256万円
	資本的収支	9,715万円	9,715万円	0
	企業会計合計	9億3,847万円	9億2,591万円	1,256万円
総計		109億2,483万円	106億3,677万円	2億8,806万円

※各会計の端数処理により、合算と合計額が合わない場合があります。

常任委員会の動き

町内外行政視察研修

写真①



12月中旬までに完成予定の「西4丁目通り」



水道建設課：立島裕二参事の説明を受ける委員

① 防災道路を兼ねる、町道整備促進道路（標津町西4丁目通り）の進捗状況の現地視察。

★10月6日（金）、町内4現地の行政視察研修を実施した。
写真①～④

文教

福祉

建設

建設

写真②



豪積雪となる「川北東2号」



現地の現況を視察する委員

② 生乳・混合飼料の搬送等、農業の基幹道路となった川北東2号。冬期間、豪積雪となり、度々、交通麻痺に陥り、防雪棚が要望されている現地の視察。

写真③

★【ドローンによる※俯瞰撮影】



★【ドローン (drone)】
遠隔操縦や自律制御によって飛行する無人航空機の総称。エンジン音が蜂の羽音に似ていることから、英語の「雄ミツバチ (drone)」が語源。



サーモン橋上空からの標津川周辺の俯瞰写真

③ 昨年8月の大豪雨において、標津市街地への浸水を防いだ標津川堤防の現地視察。

④ 海岸侵食により、倒壊が危惧される忠類地区の、遊休商業建造物2施設の現況を現地視察。

写真④



11月中旬までに、基礎コンクリートを残し解体された旧「国後展望閣」の跡地



旧「国後展望閣」の俯瞰写真



旧「標津ニコライ亭」の俯瞰写真

ドローン撮影：クニオフィス

※【俯瞰(ふかん)】：高い所から見下ろし、眺める事。
例) 俯瞰図 同義語 鳥瞰(ちょうかん)

文教

標津町営球場周辺 丘陵の狐穴調査

エキノコックス症
感染の危険！

11月17日(金)、9月定

例会において、小川悠
治議員が一般質問にて、
エキノコックス症の感
染源のキタキツネの市

街地徘徊対策を質した。
標津町営球場周辺に
キタキツネが出没し、
丘陵に多数の巣穴を
掘っているとの報告を、



住民生活課：和田係長の説明を受ける委員



キタキツネの行動に関して説明する
山崎陸郎議員



～多数のキタキツネの巣穴の一部～
大きな穴は直径25cm深さ2m以上のものがある



標津町営球場に近隣する
標津認定こども園『あおぞら』近隣の俯瞰写真

近隣に居住する山崎陸
郎議員より受け、更に、
近接する標津認定こど
も園「あおぞら」の園
児達が、度々、遊んで
いるとの情報も得て、
対応すべき事柄として、
現地調査を挙行した。
住民生活課職員に滞
同を願ひ、現地にて説
明を受けた。
多数の巣穴を発見し、
住民生活課に対し、安
全なる捕獲・駆除を要
望すると共に、教育委
員会に、現況報告と園
に対しての、手洗いの
洗浄励行を促した。



【特設授業】中学校1年数学の授業風景
授業中の標津中学校 松田 修 教諭



【講演】秋田県美郷町教育員会
教育長：福田 世喜 氏の講演風景



標津町教育実践発表研究会のテキスト
『研究紀要』

平成29年度標津町教
育実践発表研究会が、
11月24日(金)に、標津小
学校・標津中学校を会
場にして開催された。

今研究会において、
教育実践先進地の秋田
県美郷町教育委員会教
育長・福田世喜氏に助
言と講演をして頂いた。

平成29年度 標津町教育研究所主催 標津町教育実践発表研究会開催

テーマ：生きる力を身に付けるための学びの連続性・一貫性の研究

当議会より
5名参加

総務

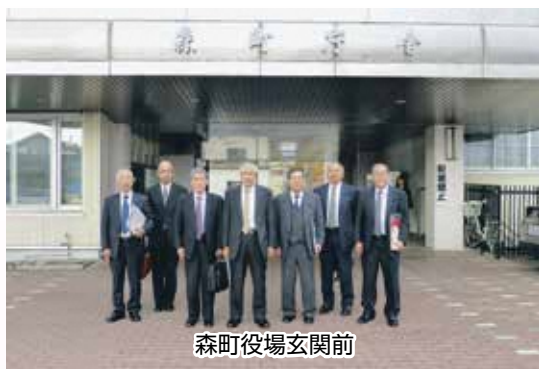
経済

★11月7日(火)～9日(木)
の日程で、渡島管内森町と十勝管内大樹町において、行政視察研修を実施した。

森町

●地熱水の農業利用

森町濁川地区は明治の開村以来、米作が中心であったが、昭和45年の稲作転換特別事業から温泉熱を利用した



森町役場玄関前

野菜栽培を開始、今日では道内での野菜一大生産地となった。

●温泉熱利用園芸ハウス

濁川地区には約70本の温泉源（温度・45℃～60度）があり、650棟以上の園芸ハウスでトマト、キュウリ、各葉菜、花卉類等を周年栽培している。

●地熱水利用園芸ハウス

地熱発電所の立地に伴い、地熱発電用蒸気に随伴する副次熱水の有効利用を図るため、



森町役場会議室にて

地下へ還元する熱水の一部を、熱交換器に導く事で出来る温水（温度・65度）を園芸ハウス施設に供給している。

●地熱発電所

森発電所は、昭和57年に運転を開始した我国8番目の地熱発電所であり、カルデラ盆地に設置し世界的にも類を見ないものであると同時に、国定公園外に最初に建設され、民家に隣接した大変珍しい地熱発電所である。



熱交換施設前にて

大樹町

《まち・ひと・しごと創生統合戦略》

①職員採用試験

②地域おこし協力隊

③ワーキング促進事業

以上3点について、

各担当課長から説明を受け、その後、意見交換を行なった。

《航空宇宙実験場》

担当課長より、今日に至るまでの経緯と将来性等、大きな夢のある説明を受けた。



実験場内のロケット模型



地熱発電所



大樹町役場会議室にて

根室地方森林・林業・林産業活性化 推進議員連盟協議会(1市4町で構成)

10月30日 ～中標津町内をフィールドに研習会～

平成29年10月30日、中標津役場会議室において、根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会の研修視察が行われた。

主催者の熊倉重樹会長(中標津町)の挨拶があり、その中で近い未来に予定されている道立林業大学校を根室管内に誘致しようとする期成会が10月27日に設置されたとの説明があった。北海道が設立に向け検討している林業大学校などの人材育成機関を根室管内に誘致し、地域林業の担い手不足解消と林業界を始めとした地域経済の発展を目的としたものである。期成会の構成員は会長を西村中標津町長とし、管内1市3町の首長他21名。

研修内容は、事前説明として中標津町児童センター「みらいる」



中標津町児童センター「みらいる」全景

について村山都市住宅課建築指導係長より、施設概要について説明を受けた。

次に「地域振興と活性化」木育

マイスターの夢」と題して中標津在住の木育マイスター柴田智幸氏の講演があり、柴田氏は訓練校を経て大工の道へ。父親の元で修行し、独立。『しばちゃん工房』を設立。建築現場の廃材を眺め、何か出来ないかという想いの中、木は3度生きる！(①植樹：成長②木材：利活用③廃材：再利用新たな命)をモットーに。木製品のおもちゃづくりを始める。

平成22年度北海道認

定の「木育マイスター」(平成28年1月現在全道176名、木の専門知識を持ち、木育の普及のため、イベント等の企画立案運営を手がける。)今まで製作したおもちゃ、遊具を実際に見手にふれ木のぬくもりを感じた時間であった。



地元産カラマツ材を用い木の温もりが感じられる遊戯室

その後移動をし、「みらいる」の施設を子育て支援室高松室長の案内で視察した。

カラマツ材をふんだんに使った、いかにも子供達にやさしい施設の出来ばえである。

根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会 〈略 称〉根室林活議連協議会

目的

この協議会は、根室地方の森林・林業・林産業の活性化と山村振興並びに森林のもつ公益的機能の維持向上のための、情報交換と必要な事項について調査・検討し、森林整備と林業・林産業活性化及び山村振興に寄与することを目的とする。

組織

この協議会は、根室地方の各市町村議会で結成された森林・林業・林産業活性化推進議員連盟等をもって組織する。

寄稿



子供達も楽しめる 多くのイベントで町に活気を

標津町商工会青年部

部長 戸田 千里

標津町商工会青年部が昭和42年6月17日に初代部長 高橋幸夫さんをはじめとし、6名の発起人により設立し、正部員33名で青年部をスタートしてから、昨年で50年が経ちました。

部長は私で16代目となり、現在の部員数は正部員17名で町の各イベントや商工会事業、青年部単独事業（ビアジン・郵便局前のホワイトイルミネーションなど）を行っております。

この50年を迎えることが出来たのは、青年部活動が頑張ってきた先輩たちの絶え間なる努力、苦労。そして、町をはじめ関係者の皆さん。何より

町民の皆様のご支援により、今日の青年部の姿があることに感謝申し上げます。

さて、私が先輩方々のイベントで思い出深いものと言えば、公民館前（現在の図書館）で行われた「チビツ子納涼大会」です。当時、私はまだ5歳で幼稚園に通って

いました。その頃の楽しみと言えば、神社祭くらいなもので、神社祭が終わるとお正月まで何もありませんでした。そんな中、青年部の皆さんが、お盆の頃に神社祭に負けないくらいのお祭りを開催してくれました。色々なゲームや焼鳥などの屋台。特に金魚すくい、

神社祭の時よりもたくさん金魚がいた事、そして7月の神社祭が終わった後に、またお祭りが有ったことに興奮したのを覚えています。

その他にも、忠魂碑（現在の望が丘公園）で行われていた「桜まつり」、「黒牛大食会」、「薫別川鮭遡上クイズキャラバン」（これは今の1番サケクイズの前身ですね）、商工会前の「冬まつり」などの楽しいイベント。懐かしいところで言ったら、駅前広場に作った簡易無料宿泊所の「サケの宿」。

この「サケの宿」は、最近埼玉から仕事で来られた方とお話しをする機会があり、その方が若い頃にバイクで北海道を回った時に泊まったことが有ると話をしていて、お酒も入っていましたが大変盛り上がりました。

近年、標津町は秋サケの不漁により、我々商工会青年部の事業所はもとより、商工業者も非常に厳しい状況で、街の中も活気が無くなっているのを感じます。

先にも書きましたが、我々青年部は設立当初の人数から見るとかなり少なくなりました。ですが、先輩たちが作り上げた青年部精神を持ち、受け継ぎ、維持し、次世代に残し、そして青年部の特色でもあり強みの、創造力、行動力を生かし、いまの小学生・中学生の子供達が楽しめ、活気ある街づくりを行っていききたいと思えます。

編集室



標津町の「お店」は標津市街と川北市街以外は、すべて無くなりました。標津・川北でも数年前と比べると、かなり店舗数も減少しましたし、購入できる品物も限られるようになりました。マスコミ等で「買い物難民」問題が報じられています。が、当町においても高齢化が進む中で、今後が心配されます。以前からあった「愛郷購買運動」で「地元の商店を利用しよう」との取り組みを今一度、思い出す時だとも思う。又、『カウモン号』の運行を工夫しながらの継続も大事。

（大垣 勇）

議長 田中 孝幸

広報特別委員会

委員長 大垣 吉田
委員 勇智

委員 山崎 山崎
委員 英司 陸郎